大阪城

2020 4/13 (月) 14061号

全港湾 西成分会

ごんわ 6647-4947

中国と米国の国友樹立をなしとげた時のアメリカの参謀キッシンジャーが、96歳だが、まだボケてはいず、今回のコロナ世界大戦争の後の世界は、今までとは立違う、新しい世界秩序が生れ、それは、かなり永遠に続くだろう……と予言している。アメリカは、ちゃんと計画性をもって対応しろ！と現状を叱咤激励している。なかなか、食えないしたたかなじいさんである。

金持ち達は、軽井沢の別荘などに、東京をぬけ出して、移動しているという。貧乏人は、そうはいかず、スパゲティー、ラーメン、カンヅメなどを、ささやかに買いこんだりしている。政府は、買いだめしなくてもだいじょうぶとは言うが、大局は、ベトナムが米輸出、を、ロシアが小麦を、輸出中止にした。この流れは、続き、食糧自給38%ほどの日本は、長期的には厳しくなる。一人、一人は、みんなしたたかに動いている。日本の検査のおくれは致命的失政で、今でもまだ必要、充分、かつすばやい検査ができていない。これから感染地獄を生きのび越えていかねばならない。

「戒厳令下」の「日雇い現金労働市場」

コロナのために壊滅状態になっています。

4月7日「緊急事態宣言が発動されてこの週末日本全国が『外出自粛』が徹底されて、「戒厳令」状態になりました。

週が明けて「どの業種に営業自粛の休業要請をするのか」ということが「休業補償問題と絡んで」今日発表されることとなるようですが、各事業主にとっては「死活問題」なのでなかなか大変なことになっていきそうです。

政府は事業主に対する「貸付金」や「融資を受けやすい制度」、極端な減収になった個人に対する「上限30万の現金給付」をすると言ってますが、条件・手続きがめんどう、いつもらえるかわからない、ということで不評のようです。

そうこうしているうちに、あちらこちらで「雇い止め」「解雇」の話がでてきていて、「ネットカフェの閉鎖」とかで行き場を失った人が集まってきそうです。

建設業は「生活インフラに係わる産業」と言うことなので、特別に「営業自粛要請」をされないわけですが、コロナ問題の長期化が重なるので、そうとう大変なこととなっています。

「スマホ情報」だけでなく、いろいろな口コミをふくめて状況認識に気を配っていくことが大事だと思います。